経済的耐用年数

交換機	29.3	年
局設置遠隔収容装置	30.1	年
［略］		
伝送装置	31.0	年
［略］		
架空メタルケーブル	35.5	年
地下メタルケーブル	44.5	年
陸上架空光ケーブル	25	年
陸上地下光ケーブル	30	年
［略］		
管路	65.6	年
中口径管路	65.6	年
［略］		
電線共同溝	65.6	年
［略］		
無形固定資産（交換機ソフトウェア）	23.1	年
［略］		

第２表

項目	数値	単位
［略］		
主配線盤施設保全費対投資額比率	0.05031	—
光ケーブル成端架施設保全費対投資額比率	0.05031	—
伝送装置施設保全費対投資額比率	0.02688	—
［略］		
共用収容ルータ施設保全費対投資額比率	0.09875	—
共用コアルータ施設保全費対投資額比率	0.08869	—

経済的耐用年数

交換機	29.5	年
局設置遠隔収容装置	29.7	年
［同左］		
伝送装置	29.8	年
［同左］		
架空メタルケーブル	34.7	年
地下メタルケーブル	43.7	年
陸上架空光ケーブル	17.6	年
陸上地下光ケーブル	23.7	年
［同左］		
管路	65.5	年
中口径管路	65.5	年
［同左］		
電線共同溝	65.5	年
［同左］		
無形固定資産（交換機ソフトウェア）	22.1	年
［同左］		

第２表

項目	数値	単位
［同左］		
主配線盤施設保全費対投資額比率	0.05017	—
光ケーブル成端架施設保全費対投資額比率	0.05017	—
伝送装置施設保全費対投資額比率	0.02606	—
［同左］		
共用収容ルータ施設保全費対投資額比率	0.09414	—
共用コアルータ施設保全費対投資額比率	0.04081	—